

11の滝が織りなす溪谷美
てりばきよう

照葉峡



大小11の滝と溪谷美
関東の奥入瀬と称される
照葉峡めぐり



③白龍(はくりゅう)の滝
(岩魚の滝から700m、徒歩約10分)
白い龍が川面をうねっているように見えます。



②岩魚(いわな)の滝
(潜龍の滝から50m、徒歩約1分)
眼下の急流に、真っすぐ落ち込んでいます。



①潜龍(せんりゅう)の滝
(湯ノ小屋温泉から5km、徒歩約80分)
たくさんの紅葉が、滝に映えて美しい景色を見せてくれます。



⑦つつみの滝
(木精の滝から250m、徒歩約5分)
滝音がこだまするほど、川幅いっぱい
に落ちる豪快な滝です。



⑥木精(こだま)の滝
(翡翠の滝から約1.5km、徒歩約40分)
落差2m、勢いが強く、真ん中の岩に
止められた流れが一気に落ちます。



⑤翡翠(ひすい)の滝
(山彦の滝から600m、徒歩約8分)
水量が豊かで、緑を映す滝が翡翠色
に見えます。



④山彦(やまひこ)の滝
(白龍の滝から100m、徒歩約2分)
落差があり、滝音が溪谷にはっきりと
響きます。



⑪ひぐらしの滝
(木の実の滝から300m、徒歩約6分)
対岸の山肌から、一気に滑り落ちて
いきます。



⑩木の実(このみ)の滝
(時雨の滝から1km、徒歩約20分)
水流が途中の岩に当たって、二筋に
分かれ落ちます。



⑨時雨(しぐれ)の滝
(不断の滝から200m、徒歩約4分)
沢からの水が、5mほどの滝となって
流れ込んでいます。



⑧不断(ふだん)の滝
(つつみの滝から300m、徒歩約6分)
対岸の岩肌から、糸のごとく滑って
落ちる落差12mの滝です。

●溪谷の散策期間●
5月下旬～10月下旬
(※気候状況により異なります)
〔芽吹き始め〕5月下旬
〔色つき始め〕10月初旬

★ご協力ください★
●照葉峡に、トイレはありません。
●照葉峡に、駐車場はありません。路肩の駐車は、渋滞や事故の原因にもつながり、大変危険ですので、ご遠慮ください。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

利根川の支流、湯ノ小屋沢川に沿って、四季折々に美しい個性的な滝が、およそ5kmにわたり点在します。この地を訪れた俳人「水原秋桜子」が、感動し、滝それぞれに命名しました。新緑の季節に、紅葉の季節に、さあ、大自然の光景を堪能してください。

※県道63号線は、大型車両での通り抜けはできません。